



子どもたち一人ひとりの思いや願いを大切に

校長 永山 誉

令和8年度がスタートして、1か月。桜若葉がみずみずしい季節を迎え、子どもたちの活動もより一層活発になる5月となりますが、新年度の様々な環境の変化の中で過ごしてきた子どもたちも、春の大型連休を迎え、一息ついているところではないでしょうか。4月30日は4月25日の土曜授業の振替として、5月1日はさいたま市民の日としてお休みとなることから、明日から8連休となります。子どもたちには、この連休中、貴重な経験や体験をしながら、心も体もリフレッシュして、連休後元気に登校してほしいと願っています。

ところで、私がこの1か月、教室を周りながら子どもたちの成長について考えたことをお話しします。子どもたちの成長には、子ども自身のやる気と周りの環境が大切です。蒔田晋治（まきたしんじ）さんが作られた「教室はまちがうところだ」という詩がありますが、ここにも成長のためのヒントがあると感じています。

詩 「教室はまちがうところだ」 蒔田晋治（まきたしんじ）作

教室はまちがうところだ みんなどしどし手をあげて

まちがった意見を 言おうじゃないか

まちがった答えを 言おうじゃないか

まちがうことをおそれちゃいけない まちがったものをわらっちゃいけない

まちがった意見を まちがった答えを ああじゃないか こうじゃないかと

みんなで出しあい 言いあうなかでだ ほんとのものを見つけていくのだ

そうしてみんなで伸びていくのだ

(以下、略)

この詩は、学ぶことについて、大切なことを語りかけてくれているように思います。私は、そもそも子どもたちとともに創り上げていく授業において、最初から間違っただけというものはないと考えています。授業というのは、子どもたちが、これまでの学習や経験等から様々な意見を出し合って、みんなで練り上げ、創り上げていく場であるからです。とかく、子どもたちの意識の中に、間違えたらどうしようというものがあるかもしれませんが、この詩は、間違っている、間違っていないなどは関係なく、自由に意見を出し合って、みんなでよりよいものを創り上げていこう。そこには、「お互いを尊重し合う気持ちが大切であるし、それがあれば人の意見を笑うなんてことは起こらない。そういうことを言っているのではないか」と自分なりに解釈しています。

大宮南小学校では、主体的・対話的で深い学びの実現のため、子どもたち一人ひとりの思いや願いを大切に授業をこれからも展開し、授業の中で子どもたちを伸ばしていきます。どうぞ、御家庭におかれましても、子どもたちの頑張りをこれからも励ましていただければと思います。

「さいたま市民の日」について

5月1日は、「さいたま市民の日」です。この日につきましては、令和3年、市民が郷土である本市の歴史や文化に親しみ、市民としての一体感とまちづくりに自ら参画する意識を高め、魅力ある本市を将来にわたって創っていくことを期する日として、市制がスタートした5月1日を「さいたま市民の日」とする条例が制定され、併せて学校管理規則が改正され、5月1日が学校の休業日になったという経緯があります。各学校においては、市民の日の前後にさいたま市の成り立ちや歴史を学ぶとともに、その文化に親しみ、さいたま市の魅力を認識・発見できる取組を行うこととなっています。本校では、5月11日（月）の講話朝会にて、「さいたま市民の日」について取り上げる予定ですが、この大型連休において、各御家庭においても市民の日についても触れていただきながら、普段できないような貴重な経験や体験をしていただけたらと存じます。